



神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2021.1

No.32

命を護る自衛隊

現在自衛隊は深刻な人材不足に陥っています。平成30年10月から、自衛官の採用年齢の上限を26歳から32歳に引き上げ、定年延長や女性隊員の職域の拡大を行いました。未だ深刻な状況から抜け出ていません。特に足りないのは若い現場自衛官です。高卒、大卒の採用は極めて重要です。

自衛隊法第97条第1項では、自治体の首長は「自衛官の募集に関する事務の一部を行う」と規定されており、自衛隊法施行令第120条においては、防衛大臣が「自衛官又は自衛官候補生の募集に関し必要があると認めるときは」自治体の首長に対し「資料の提出を求めることができる」となっています。

しかし特定の政治団体等の圧力もあり、全自治体の6割が、自衛官募集対象者情報の提供協力を拒んでいる実態が、国会でも明らかになりました。

岡田ゆうじ議員は2019年11月29日の神戸市会において「私たちの神戸は、阪神大震災のときに自衛隊の方に本当に救っていただいた、助けていただいた。私たちはああした助けがなければ今どうなっていたらどうか」「防衛や災害対応を担う自衛隊に対して、積極的に連携を強化するというのは当然」として、自衛官の募集に際しての情報提供を強く要請。



被災地で国民の命を守るために活動する自衛隊（陸上自衛隊HPより）

2020年12月1日の神戸市会でも「防衛省に募集対象者情報を提供することは法令に根拠があり、かつ神戸市個人情報保護条例においても何ら問題がない」と再確認し、神戸市として、電子データによる募集対象者情報の提供が定着することになりました。

阪神大震災の災禍から神戸市民を救い、国の防衛という重要な役割を担う自衛隊の活動を、今後も全力で応援して参りたいと思います。

国を護り神戸の安全を支える自衛隊と岡田ゆうじ議員

《イラスト 清水ともみ》



① 現在自衛隊は深刻な人材不足。平成30年から採用年齢の上限を32歳に引き上げ、定年延長や女性隊員の職域拡大を行いました。が、未だ改善していません。

③ 極めつけは、自衛官の募集対象者を自治体から提供を受ける際、「自治体の戦争参加」「市民を戦争に巻き込む」などとして、妨害を行っていることです。

② 自衛隊お断り！
特に足りないのは若い現場自衛官。災害時などで活躍する自衛隊員は国民のヒーローですが、それを疎う政治団体などが、様々な嫌がらせをします。

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
しかし、自衛隊法と自衛隊法施行令では、自治体は自衛官募集事務の一部を行い、防衛大臣に対し、資料提出することになっています。

④ さまざまな妨害により、全自治体の6割が、自衛隊法・施行令の規定にも関わらず、協力を拒んでいる実態が国会でも明らかになりました。

⑤ 神戸市会では、**岡田ゆうじ**議員が2019年11月29日「防衛や災害対応を担う自衛隊に対して、積極的に連携を強化するというのは当然」と発言。情報提供協力を強く要請。

⑥ 本会議において自民党同僚議員からも強い申し入れ（上富寛弘議員。2019年10月29日本会議）。

⑦ これらの発言は共産党の反発を招きましたが、2020年12月1日にも**岡田ゆうじ**議員より「募集対象者情報の提供は法令に根拠があり、かつ神戸市個人情報保護条例においても何ら問題がない」と主張。神戸市の募集対象者データの提供が定着しました。

⑧ 尖閣諸島における中国共産党の威嚇・妨害行為など、わが国の安全を取り巻く環境は、厳じさを増す一方です。自衛隊に人がいなければ、国や国民を守るはずがありません。

⑨ **岡田ゆうじ**議員と自民党神戸市議団は今後も阪神大震災の災禍から神戸市民を救い、国の防衛という重要な役割を担う自衛隊を、全力で支援して参ります。

